

# 竹が繋ぐ 「里山」と「里海」の循環と再生

山海環（さんかいかん）

## 竹で瀬戸内海を再び「豊穡の海」に



### 竹林整備と竹の多面的活用

#### ①竹林整備

広島県安芸高田市およびその周辺地域で、竹やぶ化した竹林を、持続可能な資源の供給源としての竹林に戻すべく竹林整備を進めています。

#### ②竹の多面的活用の啓発活動

安全で持続可能な竹林整備のための講演会、講習会やワークショップを各地で開催しています。

### 竹の集荷と竹炭、竹チップ／竹パウダーの製造と販売

#### ①竹林整備による竹の受入・集積基地の整備

#### ②竹炭の製造（炭窯を使った硬質竹炭、無煙炭化器を使ったバイオ炭）

#### ③竹チップ／パウダーの製造

整備によって排出された竹を集荷し加工することにより、農業分野（土壌改良、防草）、畜産分野（家畜の飼料や敷料への活用、臭気防止）、調湿、融雪など、幅広い分野への展開を図っています。

### 竹を使用した牡蠣養殖用資材の企画・製造・普及

#### ①牡蠣養殖用プラスチック／塩ビ製スペーサパイプの竹への転換（回帰）

瀬戸内海の海洋プラスチックごみとして大量に発生する牡蠣養殖用プラスチック／塩化ビニール製スペーサパイプを篠竹製に転換（回帰）し、製造した竹製パイプを普及させる活動を展開中です。

#### ②「バイオプラスチック」製スペーサパイプの開発

廃牡蠣筏の竹材由来の炭化物や、里山の竹由来の竹パウダーを50%以上混ぜた「バイオプラスチック」を企画／試作中です。これは牡蠣養殖の分野だけでなく、他の分野の幅広い応用も期待できます。

#### ③牡蠣筏の廃竹材の炭化

年間約2,400台が廃棄されている牡蠣筏、それらは大半が「野焼き」という手段で処分されています。それらの炭化処理を行い、里海と里山の循環の構築を進めています。

#### ④広島県産の牡蠣筏用竹材のシェア拡大

現在、牡蠣筏に使われる広島県産の孟宗竹のシェアは10%以下。これを広島県産に戻してゆくための適切な竹林整備と仕立てを実施し、広島県の中山間地域の里山の荒廃に少しでも歯止めをかけたいと考えます。

竹林面積の面では、広島県は同じ中国地方の山口県や島根県には及ばないものの、「牡蠣」という県を代表する名産品の養殖においては、竹との深い繋がりがあります。徐々に希薄化しているその繋がりを復活させてゆく活動を展開しています。



竹林整備



無煙炭化器による  
廃牡蠣筏竹材の炭化作業



竹に関する講演会（東広島市）



竹林整備講習会（世羅町）



牡蠣養殖に使用されるプラスチック／  
塩化ビニール製スペーサパイプ



篠竹製スペーサパイプ

山海環（さんかいかん） 代表 谷川 裕之

〒731-0235 広島県広島市安佐北区可部町勝木1288番地65

090-2295-8375 hiroyuki15dec@gmail.com <https://www.facebook.com/profile.php?id=100086562309956>